



～地域の高次防災拠点として～ 古川高校防災研修会

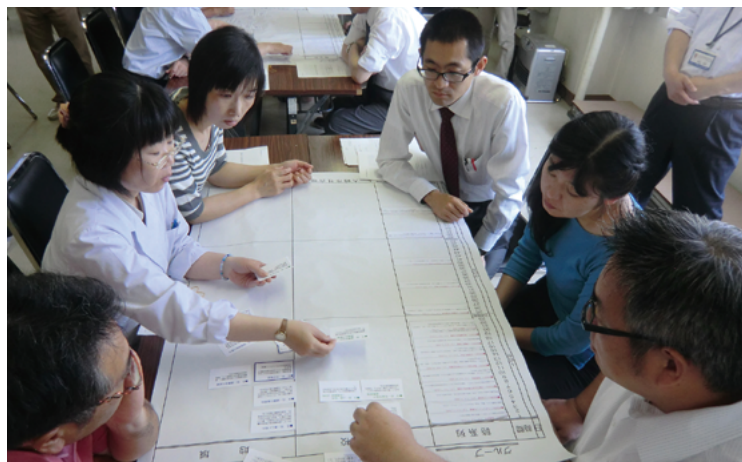
平成26年6月19日(木)宮城県古川高等学校にて、教職員役40名を対象とした「防災研修会」を実施いたしました。

大崎市社協では「誰もが住み良い、安心で安全なまちづくり」を目指すための地域福祉活動の一環として、東日本大震災の経験を生かして、「地域の高次防災拠点」として位置づけられた大崎市内の教育機関等に対する「福祉防災学習」や「学校防災機能強化」への支援を進めています。

研修会では、「発災からの72時間」と題して、大規模地震災害を想定した時系列シミュレーションによる想定訓練をグループワークにて行いました。

参加された教職員の方々からは「災害はいつ起きるか予想出来ない、教職員一人ひとりが対応出来る力を身につける訓練は必要だ」「教職員同士が互いの意識を常に共有しておくことの大切さを感じた」という声が寄せられました。

今後も各学校の希望に応じた福祉学習の支援を行ない、学校・地域と一体となった福祉防災の推進に努めて参ります!



地域の皆様と共に取り組む「福祉防災」

～地域の皆様にご協力をいただきました～ 特別養護老人ホーム「敬風園」総合防災訓練

6月12日(木)特別養護老人ホーム「敬風園」にて、総合防災訓練を実施いたしました。

200名を超える利用者の皆様に安全な場所へ避難誘導するため、消防団の皆様、近隣地域の皆様にもご協力を頂き、消火活動や負傷者の搬送、炊き出し等、充実した訓練を行うことが出来ました。

ご協力を頂きました皆様、ありがとうございました。

